



# しほろ

平成21年 8月 No.133

## 議会だより

■発行／士幌町議会 ■編集／士幌町議会広報特別委員会

ホームページアドレス <http://www.shihoro.jp/hp/gikai2/index.htm>



大健闘！「がしつうさい楽耕祭」をテーマに、四季折々の士幌の農業の様子を表現

### 審議した議案

雇用創出推進基金条例を制定ほか…………… 2 ページ

### 一般質問

特別支援教育の推進について ほか 4 件…………… 4 ページ

### かけ橋

「活気あふれる士幌高校の未来を期して」  
士幌高等学校 校長 小松 芳幸 さん…………… 8 ページ



北海道知事特別賞を受賞した  
しほろジャガイモ√7000ターボ



光発電などの事業化に向けた重点ビジョン策定の検討委員会を設置。

## 農業共済事業 損害評価会委員の選任



人事異動に伴い、仲野貴之さん（JA土幌）を選任。

## 一般会計で 1億円余を補正

主な補正内容

- 新エネルギー重点ビジョン策定事業 628万円
- 佐倉へき地保育所運営負担金 260万円
- 看護師修学資金貸付金 100万円
- 定住雇用促進住宅建設助成金 3000万円
- ふるさと雇用再生特別対策事業委託料 427万円
- しほろ温泉可燃性ガス安全対策工事および1号井改修工事 2400万円

# 臨時町議会

## 第3回臨時会

5月8日

## 第4回臨時会

5月29日

- 平成20年度専決処分補正予算
  - 一般会計
  - 国民健康保険事業特別会計
  - 介護保険事業特別会計
  - 農業共済事業特別会計
- 条例の一部改正
  - 町税条例等
  - 国民健康保険病院事業条例
- 物品購入契約の締結
- ◎ 町民大型バス 1台
  - 契約金額2320万5千円
  - 契約相手方 (有)西部自動車整備工場
- ◎ 公共施設地上デジタル物品
  - テレビ 60台
  - チューナー 260台ほか
  - 契約金額1669万5千円
  - 契約相手方 土幌町電器製品納品組合

- 平成21年度補正予算
  - 一般会計
  - 介護保険事業特別会計



臨時本会議場(5月29日)

- 平成21年度専決処分補正予算
  - 一般会計補正予算
- 町長等の給与等に関する条例等改正
  - 21年6月支給の町長等及び職員の期末・勤勉手当削減

### 意見

- ・ 地方財政の充実強化を求める意見書
- ・ 所得税法第56条の廃止を求める意見書
- ・ 北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書
- ・ 勤労貧困層の解消に向けた社会的セーフティネットの再構築に関する要望意見書
- ・ 全国健康保険協会管掌健康保険の財源調整機能の拡充等を求める意見書
- ・ 地域医療確保と自治体病院充実のための予算の大幅増額等を求める意見書
- ・ 現行保育制度の堅持拡充と保育、学童保育、子育て支援予算の大幅増額を求める意見書

“ “ “ “ “ “ “

平成21年第1回定例会以降の町政の推移について、報告がありましたので、要約のうえお知らせします。

### ◆ 定住促進対策

人口減少社会が進行する中、定住人口の安定と増加に向けた調査研究等のため「土幌町7000人復活プロジェクトチーム」を設置。

### ◆ インフルエンザ対策

対策本部を設置。感染拡大防止と基礎疾患を有する方を守る対策を、国など関係機関と連携を密にし取り組む。

### ◆ 環境対策

住宅用太陽光発電設備の導入促進を図るため、設置費用の一部を助成し募集と普及に努めていく。また、公用車両の更新時に、低公害車3台の導入を計画。

# 行政報告

### ◆ 給付金等実施状況

◎ 定額給付金  
対象世帯数2608世帯、対象人数6717人で申請者に総額で1億377万円を給付。なお、6月1日現在で23世帯23名の方が未申請。

### ◎ 子育て支援金

対象世帯数292世帯(国の子育て応援特別手当104人、町単独の就学前児童応援手当331人)で、総額1566万円を給付。



- 大西 米明 議員：特別支援教育の推進について
- 清水 秀雄 議員：小規模工事希望者登録制度について
- 富田 忠雄 議員：国民健康保険税について
- 和田 鶴三 議員：町道の簡易舗装計画について
- 細井 文次 議員：いじめ問題について

## 特別支援教育支援員の配置を全校に

交付税処置されているので努力したい



大西米明 議員

**質 問** 学校教育法が改正され、従来の盲、聾、養護学校だけでなく、複数の障がい種別を受け入れる特別支援学校の制度に転換されたが、町内ではどのような特別支援教育が行われているのか。

また、インクルーシブ教育をどのように考えているのか。

**カ石教育委員長答弁** 今年度本町においては、6小学校に12学級、中央中学校に4学級の特別支援学級があり、23名の在籍数がある。それぞれの学校では充実した特別支援教育を推進するため、土幌・佐倉・新田の各小学校及び中央中学校に特別支援教育支援員を配置。また、町特別支援教育振興会を組織し、学校と



支援教育を考える集い（2月16日）

関係機関との連携を図る手だてを整えている。学校では校内委員会を設置し、全教職員の間で共通理解を図りながら自校の特別支援教育の充実に努めている。校長が職員の中から特別支援教育コーディネーターを指名し、特別支援教育のリーダー的な役割を担わせている。

インクルーシブ教育は、障がいを持つすべての子供が障がいのない子供と同じ場所で

同じように学ぶ共生、共学の教育のあり方を認識している。

**質 問** 特別支援教育の支援員について、土幌町はなぜ4名なのか。財政面や人材の確保、対象の児童がいない等の理由か。

**神野教育長答弁** 人材が確保できないということがあり、町に交付税措置がされているので、全校に配置できるようにさらに努力をしたい。

**質 問** 町特別支援教育振興会とは。

**カ石教育委員長答弁** ことばの教室を中核として、教育部門と保健、福祉、医療が結びついている。この連携をも

っと強めていきたい。

**質 問** 特別支援学級教員の選任方法と研修はどのようになっているのか。

**笠谷教育委員会参事答弁**

校長が適材適所を判断して担任を決めている。研修については、現在希望が殺到しており、希望どおりに受けられない状況である。

**質 問** インクルーシブ教育は、特別支援教育が最終的にたどり着く教育では。

**神野教育長答弁** 障がいを持つ子供たちと一緒に生活できる学校体制、そして社会体制にならなければならないと思う。

## 住宅リフォーム助成や耐震工事助成で経済活性化を

町内業者発注で活性化



清水秀雄 議員

**質 問** 小規模工事希望者

登録制度が全国に広がり、競争入札資格のない未登録業者に自治体が発注する小規模な建設工事や修繕の受注機会を確保し、地域経済の活性化につなげようとするものである。

# 平成21年 第2回定例会

# 一般質問

6月定例会では、5名の議員が理事者の考えをたどりました。

その内容を要約してお知らせします。



住宅改修工事を営繕会に発注

公共工事半減など地域経済の落ち込みが激しい現状で、国の補正予算の地域活性化・経済危機対策臨時交付金実施を契機に小規模工事希望者登録制度を創設し、住宅リフォーム助成や耐震工事助成など、地域密着型の経済活性化対策を行うことで地域経済に大きな波及効果をもたらすと考えるが。

**小林町長答弁** 小規模工事希望者登録制度については、法律に定められた制度ではなく自治体が営繕、修繕、改修等の小規模工事について、そ

の自治体に存する事業者の受注機会を拡大し、地域の活性化を図る目的で各自自治体が行っている制度だと理解している。小規模工事に当たっては、町内の営繕会に個人事業者も入って随時、町の小さな工事を受注しながら修繕等を実施しており、あえて小規模工事希望者登録制度を設置しなくても、町内業者を優先した発注をしていると認識している。

なお、住宅に対する助成制度は本年4月から要綱を設置し、耐震工事にかかる助成をしているが、この制度活用に向けた周知をしていきたい。

建設業については極めて厳しい状況で、失業者対策の実施とあわせ農商工連携など、建設業が新分野に参入ができる振興策を、商工会や関係団体と十分協議し、進めていきたい。

## 資産割を除く課税制度は

今後も4方式で課税



富田 忠雄 議員

**質問** 国保税は、現在資産割、所得割、均等割、平等割の4方式で課税しているが、管内でも資産割を廃止して3方式の課税に改める条例案が提案されている。本町はどのように考えているか。

また、長寿医療制度で75歳以上の方々扶養家族から外され、負担増となっている。高齢者家庭の2人世帯または単身世帯の保険料負担はどのようになっているのか。

**小林町長答弁** 課税の均衡ということからすれば、4方式のほうが望ましいと認識をしており、今後も4方式で課税を行っていききたい。

長寿医療制度は、一般的に年金収入が2人世帯で220

納期	町民等納期	町民等納期	町民等納期	町民等納期	町民等納期
第1期	4月15日	7月15日	10月15日	1月15日	4月15日
第2期	7月15日	10月15日	1月15日	4月15日	7月15日
第3期	10月15日	1月15日	4月15日	7月15日	10月15日
第4期	1月15日	4月15日	7月15日	10月15日	1月15日
第5期	4月15日	7月15日	10月15日	1月15日	4月15日
第6期	7月15日	10月15日	1月15日	4月15日	7月15日
第7期	10月15日	1月15日	4月15日	7月15日	10月15日
第8期	1月15日	4月15日	7月15日	10月15日	1月15日
第9期	4月15日	7月15日	10月15日	1月15日	4月15日
第10期	7月15日	10月15日	1月15日	4月15日	7月15日

国保税等の納期一覧看板（役場入口に掲示）

万円、単身世帯で230万円を下回る場合等、低所得者ほど長寿医療保険料の方が安くなる傾向にある。本制度をめぐっては、いろいろな課題も指摘されており、さらに見直しも考えられている。

今後の動向に注意をしながら、町民への情報提供とあわせて国、広域連合に意見反映をしていきたい。



# 簡易舗装の改修は

## 財政と交通量を見極めて



和田鶴三 議員

小林町長答弁 市街地の道路整備については、第5期の総合計画あるいは行政改革に基づいて路線を決定、実施をしている。

**質問** 簡易舗装道路は、長年の厳しい凍上による被害で傷みが至るところで進んでいる。既存道路の改修についてのどのような考えを持っているのか。

また、今後の計画は。



凍結等で傷んだ簡易舗装道路

# インターネットによるいじめ対策は

## 携帯電話など、安心講座で指導



細井文次 議員

**質問** 管内の道立高校で起きた集団のいじめ問題は固定した人間関係の中で起きたもので、土幌町内でもあり得る環境であり、また今回はインターネットがいじめを悪質化させたのも特徴の一つである。インターネットとの付き合い方を児童生徒にどう指導するのか。教育委員会はいじめの有無を把握しているのか、どのような対策を行っているのか。

**カ石教育委員長答弁**

本町においてもこの種のいじめの未然防止と適切な指導に万全を期す必要があると認識している。最近の状況では、特に際立ったいじめの報告は受けていないが、ネットによるい

校から中央中学校に入学して、いじめやいじめのようなことをされたこの報告を受けているか。

**神野教育長答弁** 小規模校から中学校へ入学した段階で、友達関係が変わったことにより、悩んだという事例報告を受けている。

また、特別支援学級に在籍する子供について、いじめがあったというような報告も受けているが、大事に至った事例はないと認識している。

インターネットの取り扱いについて指導を行い、携帯安全教室やインターネットを健全に利用するための講座などを開催して指導の徹底を図っている。

**質問** 特別支援を受けている子供が各小学



新聞報道されたいじめ問題

勲五等双光旭日章・土幌町名誉町民  
元土幌町長・元土幌町議会議長

# 飯島和吉翁ご逝去

ご冥福をお祈り申し上げます

去る5月21日ご逝去された故 飯島和吉翁を偲んで、5月30日町葬がコミュニティセンターでしめやかに執り行われました。

氏は、昭和34年4月、土幌村議会議員に初当選され、以

来、昭和57年11月までの5期19年余の長きにわたり町議会議員を務められました。

この間、当時の産業常任委員会委員長、総務常任委員会委員長を歴任、昭和54年には議会議長に就任。円滑な議会運営に尽力され、

町政全般にわたって卓越した政治手腕を発揮されました。

昭和57年12月には、土幌町長に就任。「町民との融和」「行政と経済の協調」実現のため日夜奔走され、町の発展に多大なご功績を残されました。ここに心から敬意を表すとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。



## 全道町村議会 議員研修会に参加



全道の議員研修会(道町村議会議長会主催)が6月30日札幌で行われ、約2千人が参加した。

講師の山梨学院大学教授江藤俊昭氏は「住民自治時代の議会の役割と課題」、読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏は「ごつなる日本の政治と経済」と題して講演。

参加した町村議会議員は、今後の議会活動に向けて研鑽を深めました。

## 議会日誌

### 「4月」

- 6日 教職員着任式
- 8日 土幌中央中学校入学式
- 9日 広報特別委員会
- 土幌高等学校入学式
- 13日 土幌高等学校5団体歓迎会
- 15日 土幌町農協協議会定期総会
- 17日 広報特別委員会
- 議員協議会

### 「6月」

- 1日 土幌町農協協議会定期総会
- 2日 陸上自衛隊鹿追駐屯地増員促進期成会総会
- 4日 北海道町村議会議長会第60回定期総会
- 5日 家畜品評会
- 9日 議会運営委員会
- 11日 土幌町農業協同組合第61回通常総会
- 12日 第2回定例議会
- 議員協議会
- 総務文教常任委員会
- 15日 産業厚生常任委員会
- 19日 戦没者追悼式
- シートベルト着用推進キャンペーン
- 20日 地域政策懇談会
- 28日 土幌消防団演習
- 30日 北海道町村議会議員研修会
- 広報特別委員会

### 「5月」

- 1日 第80回メーデー土幌集会
- 8日 第3回臨時町議会
- 議会運営委員会
- 議員協議会
- 広報特別委員会
- 土幌町自衛隊協力会総会
- 14日 十勝圏活性化推進期成会
- (産業建設委員会)
- 支庁制度改革等に係る意見



# 活気あふれる土幌高校の未来を期して

土幌高等学校 校長 小松 芳幸よしゆきさん



「黒毛にかける俺の夢」と題して、自家の黒毛和牛を将来十勝和牛ブランドとして全国に売り込みたいと熱く語る生徒。また「尊敬する人はいま

るか…古くて単純なこの問いに対して」では、日頃の何気ない生活の中から、ふと気づく両親のありがたさ。今だかららつきり言える、両親への感謝の気持ち。

5月に行われた農業クラブ「校内意見発表大会」において、上位に入賞した三年生の発表作品です。  
一面に水田が広がる旧産炭地の美幌市から土幌高校に着任しました。東又ブカウシヌプリの裾野に広がる広大なキャンパスと牛や馬たちに圧倒され、体育教師である自分が、この伝統ある農業高校の校長

で本当にいいのだろうか、自問する日々の中で行われた、校内意見発表大会でした。正直に感動しました。本校生徒の素直さや純朴さはこちらに来てすべし十分承知していましたが、農業という実学を通して、生徒は確実に生きる力や生命に対する優しき、感謝の気持ちを身につけ、三年間の高校生活でしっかりと成長していることを確信した一場面でした。

土幌に来てすべし、土幌高校の誕生からこれまでを研究した論文を紹介されました。基幹産業である農業の後継者養成を目的に本校が作られたこと、町とともに議会やJAその他多くの関係機関が本校設立に大きく関わっていること、そして草創期を始め、節目節目に多くの方々のご尽力があつて、現在の本校が成り立っていることがわかり、あらためて、町や市民の方々の本校に対する期待の大きさとその責任の重大さを痛感した所です。

「生徒と教師が共に生き生きと輝く、活気溢れる学校」が私の目指す学校像です。農業に関する知識も技能もない私ですが、教職員一丸となつて、地に足をつけてしっかりと指導し、夢を持って本校に入学した生徒を立派に育てて実社会に送り出していく決意です。

町、町議会の本校に対するこれまで同様のご支援を心からお願ひ申し上げ、今回の寄稿とさせていただきます。



6月定例町議会から試行的に一般質問を「一問一答方式」と従来の「一括質問方式」とのいずれかを質問者が選択し、今定例会には5人の議員が登壇して一般質問を行い、二人の議員が一問一答方式で論戦を交わしました。一問一答方式は争点を明確にして、より深い内容の質疑、答弁を引き出すのが目的です。9月、12月の定例会でも試行的に継続し、当面は制限時間を設けず行います。

2月の臨時会で制定されました土幌町まちづくり基本条例の第14条第8項で、「議会は、会議において議員と町長等の質疑応答は広



広報特別委員会委員

く町政上の論点及び争点を明確にするため町長等は、反問することができません」とありますが、今定例会では町長が質問者に対し「反問権」を行使することはありませんでした。いずれにしても傍聴者の皆様に分かりやすい議会運営を行ってまいりますので、ぜひ傍聴に来ていただくようお願いいたします。

大西 米明

## 9月定例議会を傍聴しましょう

第3回定例議会は、9月11日からの開催予定ですので、多くの方の傍聴をお待ちしています。

\*6月定例議会の傍聴者数

延べ36名